



**EXPO
Eco-
Money**

EXPOエコマネーの 普及拡大に向けた取組について

EXPOエコマネーとは

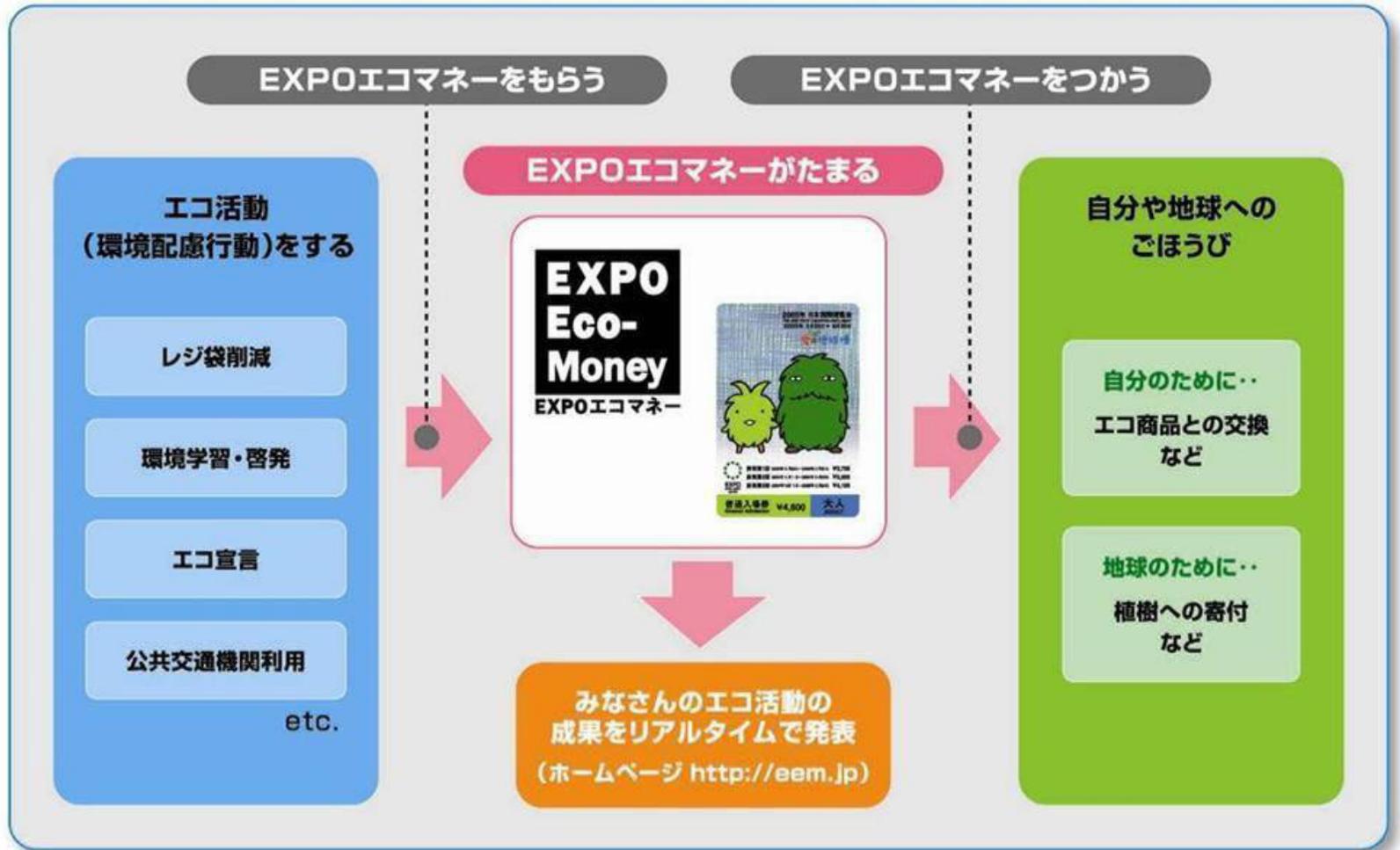
2005年日本国際博覧会（愛・地球博）で協会事業として始められた、新しい社会システムです。

持続可能な社会の実現を目的に、市民の自発的なエコ行動にポイントが与えられ、そのポイントがエコ商品との交換や植樹事業など環境保全活動に寄付されるもので、

万博会期中には、予想を大きく上回る約60万人（参加ID数は21.5万）が来場し、327万ポイント余りを発行しました。



ポイントの流れ



ポイントをもらう時も
つかう時も地球にやさしい環境通貨

万博での理念・成果を継承 ～非日常から日常へ～

閉幕後、約2ヶ月を経てアスナル金山に移設オープン。
初日には約3,000人のエコ市民が詰め掛け、入館待ちは最大3時間にもおよびました。

2007年には名古屋市内2ヶ所、瀬戸市・豊田市・長久手町に計4ヶ所のポイントサービス拠点がオープン。

その後、イオン・ユニー系大型量販店へも拡大。

総参加者数は36万人。これまでの総発行ポイント数は、1,100万ポイントを超えました。



©GISPRI

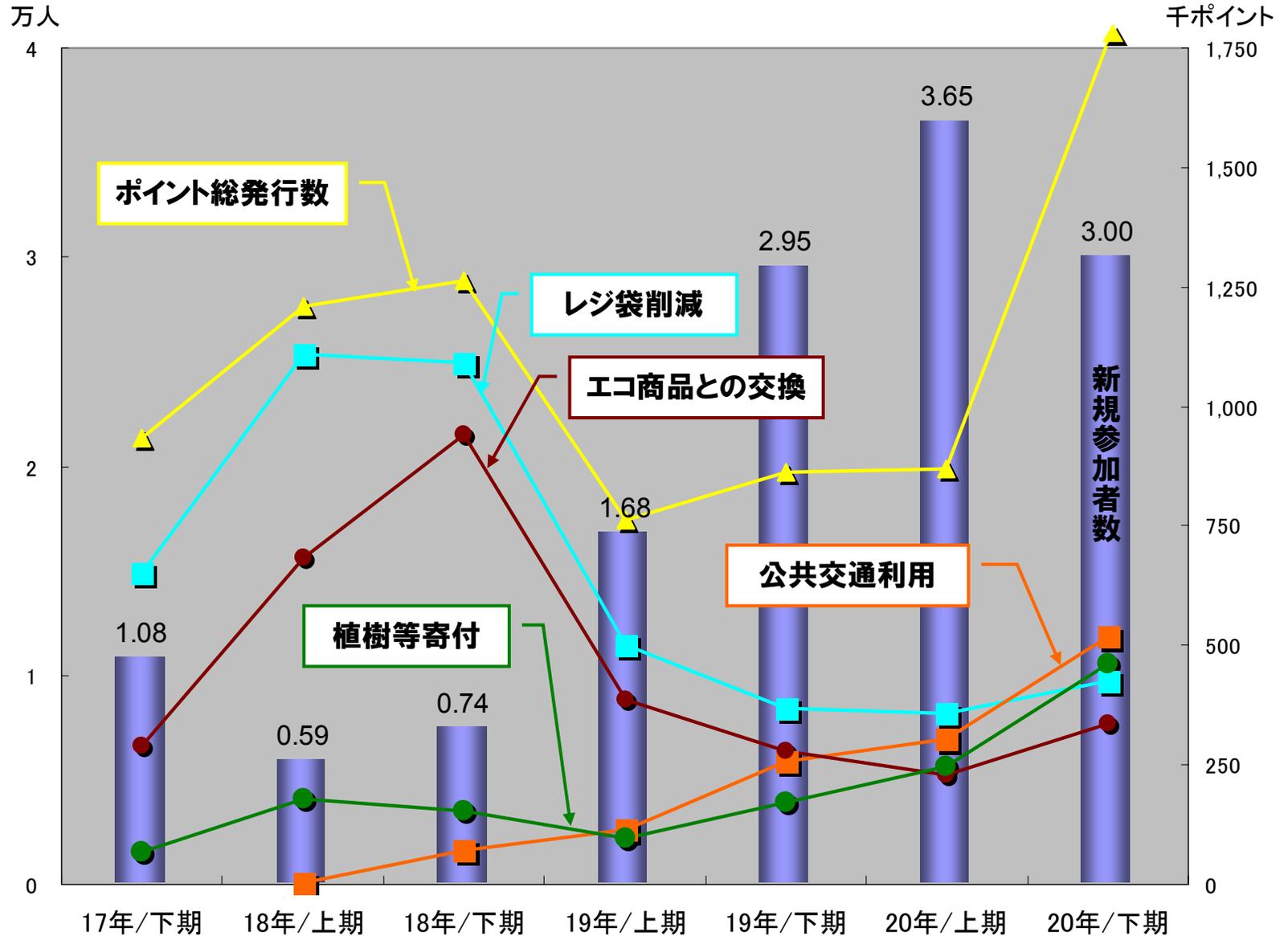


これまでの成果（万博閉幕後の参加者・ポイント動向）

（単位：人、ポイント）

	17年度 下期	18年度 上期	18年度 下期	19年度 上期	19年度 下期	20年度 上期	20年度 下期
エコ市民人口	226,094	231,953	239,394	256,145	285,672	322,144	352,184
新規エコ市民	10,782	5,859	7,441	16,751	29,527	36,472	30,040
総発行ポイント数	934,864	1,210,597	1,263,618	763,966	861,941	869,660	1,762,897
内、レジ袋削減	651,598	1,107,687	1,091,175	500,136	367,354	358,576	426,910
対、発行ポイント	69.70%	91.50%	86.35%	65.47%	42.62%	41.23%	24.22%
内、公共交通		2,750	72,232	112,836	255,924	303,985	520,191
対、発行ポイント	0.00%	0.23%	5.72%	14.77%	29.69%	34.95%	29.51%
エコ商品との交換	290,651	683,784	939,900	386,230	278,278	229,916	336,435
対、発行ポイント	31.09%	56.48%	74.38%	50.56%	32.29%	26.44%	19.08%
植樹等への寄付	69,056	177,201	154,884	95,210	173,228	245,389	462,507
対、発行ポイント	7.39%	14.64%	12.26%	12.46%	20.10%	28.22%	26.24%
備 考	11/20 金山センターOPEN	ユリカ認証による交通ポイント発行実験	交通エコポン開始 名古屋市内に、拠点2ヶ所開設 ポイントレート変更	レジ袋Wポイント制廃止 リコモ沿線に、拠点4ヶ所開設	エコポン・店舗リーダールール改訂 大学連携(ポイントの再発行)事業	リコモ沿線市町のまちづくり団体との連携 メッセナゴヤにおける企業連携	FeliCa対応大型流通5店舗にサテライト開設

これまでの成果（万博閉幕後の参加者・ポイント動向グラフ）



これまでの成果（webによる可視化）



これまでの成果（葉っぱ型シールによる植樹等寄付の可視化）



2005年11月20日撮影



2006年7月3日撮影



2008年3月5日撮影



2009年7月10日撮影

これまでの寄付ポイント数(6/31現在)

2,402,045pt

これまでの成果（植樹によるCO2の固定化）



参加者の共有ツールとして ～成長を続けるポイントシステム～



電子マネーやIC乗車券、携帯電話、社員証・学生証・・・
FeliCa®を子カードとして登録可能なシステムに拡張。

買い物や公共交通機関の利用、環境学習・活動の参加など、
それぞれのシーンに合わせ、別目的で入手済の媒体で
ポイント取得が可能に。

FeliCa® (フェリカ)とは

電子マネーやIC乗車券の他、社員証や学生証にも採用が進んでいます。
また、おサイフケータイ® 機能を持つ携帯電話にも内蔵されています。

■ 電子マネー



エディ クイックペイ ビザタッチ

■ 電子マネー（流通系）



ワオン カルワザクラブ ナナコ

■ FeliCaポケット



FeliCaポケットマーク

- ※ FeliCa®は、ソニー株式会社の登録商標です。
- ※ おサイフケータイ®は、株式会社NTTドコモの登録商標です。

■ IC乗車券



トイカ (JR東海) スイカ (JR東日本) パスモ (首都圏私鉄)

■ おサイフケータイ



おサイフケータイ機能付き端末に
付けられている統一マーク

■ EXPOエコマネー「GREEN Card」



カード利用額の0.25%が自動的に植樹等へ寄付される
エコ市民専用カード

エコ・モビリティ関連メニュー

■ 交通エコポン

2004年・05年の社会実験を経て、06年10月から本格実施。
公共交通を利用すること（環境に優しい交通行動）にポイントを付与。



駅設置の
無人リーダー

地下鉄・あおなみ線を利用する



※ 地下鉄とあおなみ線で、それぞれ1日1回のみ有効です。
※ タッチが認証されると電子音が鳴ります。一部の携帯電話では、読み取りが出来ない場合があります。

地下鉄・あおなみ線を使ってお買い物



※ 当日のお買い上げレシートと電子マネーや携帯電話を、各店の受付カウンターにお持ち下さい。
※ 同日内に、指定最寄り駅でのタッチが必要です。

リーダー設置箇所

地下鉄	名古屋駅（3台）、栄駅（3台）、金山駅（1台） 八事駅（1台）、なごやドーム前矢田駅（1台）
あおなみ線	名古屋駅（1台）、荒子川公園駅（1台）、金城ふ頭駅（1台）
協賛店舗	イオン熱田SC、ジャスコ名古屋みなと店、ジャスコ八事店

※ 今年度中に、市内大型流通店舗3～4ヶ所へ追加設置予定。

エコ・モビリティ関連メニュー

Lini Pon

リニモに乗って
お買い物や
環境学習施設に行くと、
EXPOエコマネーが
もらえます。

駅リーダーにタッチ



+

+

施設リーダーにタッチ



アビタ長久手店でお買い物



= EXPO Eco-Money **10**ポイント!

同じ日に、リニモの駅リーダーと、施設リーダーに「愛・地球博」入場券をタッチ!

※ただし、何回タッチしても、1人1日10ポイントまで

= EXPO Eco-Money **25**ポイント!

同じ日に、リニモの駅リーダーに「愛・地球博」入場券をタッチ、アビタ長久手店の1,000円以上のお買い上げレシートを持って1Fサービスカウンターへ!

※ただし、何回お買い物をしても、1人1日25ポイントまで

エコ・モビリティ関連メニュー

■ アピタ千代田橋店、アピタ鳴海店

ユリカなどトランパス磁気乗車券や一日乗車券の裏面記載事項にて当日使用を認証。

当日のお買上レシート1,000円以上により25ポイント発行。



7171254茶屋千種X ¥850

■ イオン大高SC

① JR南大高駅改札内に設置のFeliCa専用リーダーにWAONやTOICAをタッチ。（行き帰りのいずれでも可）

② 1,000円以上のお買上レシートを提示し、店舗リーダーにタッチ。

③ 終電終了後に両リーダーの履歴を認証し、25ポイント発行。



■ 豊田市営バス（おいでんバス）

運転席横の料金BOXに設置の車載専用リーダーに電子マネー等をタッチすると1ポイント発行。

ただし、おひとり一日1ポイント限り。



その他の新たな取り組み

■ GREENシール

ポイントを貯める楽しみを実感できる仕組みとして、これまで自治体系のレジ袋削減メニューで使用された「シール方式」を発展的に導入。

小売店舗での環境配慮商品や地産地消農産物への貼付の他、地球温暖化防止、3R、生物多様性の保全等、持続可能な社会の実現に寄与する行動に対して発行。

50シール集めると50ポイント換算または50円分のエコ商品等と交換ができる。

端末機器を必要としないポイント発行方式として、様々な分野での本格的な実施を目指す。



日々の環境活動を応援しています

GREENシールを集めて、地球にいいことに使おう。

GREENシールの集め方

- 1**
 地球にやさしいお買い物。
 シール対象商品の購入や
 エコ活動に参加する。
詳しくは <http://eem.jp>
をご覧ください
- 2**
 シールをもらう。
 シールは下の枠内に1から
 順番にお貼りください。
- 3**
 台紙がいっぱいになったら
 (シールが50枚たまったら)
 協賛店舗やエコマネーセ
 ンター・サテライトにお
 持ちください。

GREENシールの使い方

地球にもっといいもの、もらおう
 協賛店舗指定のエコ商品と交換できます。
 エコマネーセンター・サテライトでポイントに換え、
 モリゾー・キッコロググスなどの交換も可能です。
※協賛店舗やセンター・サテライトにより、交換できる商品が異なります。
 ※すべての交換商品および交換に必要なシール枚数は、各店舗にてご確認ください。

地球にもっといいこと、しよう
 エコマネーセンター・サテライトでは、植樹事業や緑化活動などへの
 寄付も受け付けています。
 台紙1冊分以上の寄付で「種善証」をさしあげています。

お問い合わせ
EXPOエコマネーセンター 名古屋市中区金山1-17-1 アスナル金山1F
 TEL 052-324-6142 ホームページ <http://eem.jp>

EXPO Eco-Money GREENシールは、
 贈・地球環境を考えた商品
 協賛EXPOエコマネーに
 より手軽に集めたいとく
 ためのアプロブールです。

さりとり罫

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50

その他の新たな取り組み

■ 大学・市民グループ等との連携

学生や市民のエコ活動を誘発・活性化させるきっかけづくりを目的に、2007年度に、愛知淑徳大学・名古屋学院大学と協働。昨年度は、愛知県立大学・名古屋商科大学の他、ボランティア団体が加わり、今年度も拡大の予定。

① 学生・市民によるエコ活動参加

環境学習



マイバッグ運動



公共交通利用

③ 行事参加者にポイント発行



エコ活動の
活 発 化

(例) エコクイズラリー、
マイ箸袋づくり、エコ展
示、グリーンマップ作成、
環境美化活動 など

**EXPO
Eco-
Money**

エコ市民の増加

**EXPOエコマネーの
地域通貨的機能を活用**

エコポイントの
流通量の増加

② EXPOエコマネーをためる

ためたポイントの範囲内でポイント
を再発行。残ったポイントは植
樹・緑化事業へ寄付

グループ単位でのECOチャレンジ

- 名古屋市「平成20年度エネルギーダイエット大作戦」
グループ(団体)で家庭の電気・ガスの使用量の削減に取り組んでもらい、CO2削減量に応じて付与されるEXPOエコマネーを一定数植樹に寄付することで、その団体の地域活動資金を一部補助。



東邦ガスからのお知らせ
ガスをご利用いただきましてありがとうございます。

おなまえ 様

お客様番号

ガスご使用量のお知らせ

平成18年12月分 次期検針予定日 1月26日
ご使用期間 11月28日～12月25日(今回検針日)
今期指示値 8164
前期指示値(又は振付指示値) 8074

当月分ご使用量 90m³

契約種別・供給約款 適用料金表: B
ガス の種類: 13A

請求(予定)額(円) 13,755円

内 ガス料金 13,755円
内(内ガス料金分消費税) 655円

口座振替日

前々月ご使用量 106m³
前々月ご使用日数 28日(当月 28日)

ガス料金等口座振替済領収証

18年11月分ご使用量 84m³
領収金額(円) 7,268円

ガス料金 7,268円
内(内ガス料金分消費税) 346円

振替日 12月 5日 契約・供給約款 料金表: B
金融機関コード ***** 口座番号 * ****

適用定額料金単価(円/m³) 供給約款

料金表種別	A	B	C	D
当月	176.98	132.46	129.94	119.97
次月	179.42	134.90	132.38	122.41

営業所 検針員

ご連絡先電話番号
ご利用はお客様センターで承ります。
ガスくさい時はご連絡先
電話 052-872-9238 FAX 052-872-8297
東邦ガス株式会社



前年同月使用量

電気ご利用量のお知らせ

平成17年 検針月日 SH20 SH19 SH18 SH17
ご検針日 SH18 SH19 SH20
検針日 20日

ご使用量 199kWh

請求予定額(税込) 4,478円
(振替 20日 0時 20分)

内訳

基本料金 1,040円00分
電灯料金 1,776円00分
電圧調整料金 1,409円42分
その他 252円58分

当月指示値 5170
前月指示値 4971
差引 199

前年同月指示値 310kWh

電力株式会社

毎月の検針票をもとに、前年同月比で電気・ガスの使用量より計算したCO2削減量100グラムごとに2.5ポイント付与。

参加団体数	9団体
参加人数	152人
総発行ポイント数	337,257pt
平均取得ポイント	2,219pt
平均CO2削減量	89kg

職域単位でのECOチャレンジ

- メッセナゴヤ2008における「ECOチャレンジプロジェクト」
社員等による自発的なエコ活動の支援を目的に、事業所が社員向けプログラムを設定し参加者にポイントを発行し、「メッセの木」植樹に寄付。
デンソー、ブラザー、セントラルファイナンス（現セディナ）他、10社・6千人が参加。社員が日常生活でためたポイントを合わせ、5万ポイント余りが寄付され、愛・地球博記念公園内に植樹を行った。



【主なポイント発行メニュー】

- 公共交通機関を利用する通勤や外出。
- ペーパーレス文書や古紙分別等ゴミ減量活動。
- 事業所周辺や地域の清掃活動への参加、環境ボランティア等への参加。
- 事業所が主催または推薦する（なごや環境大学等）環境学習プログラムへの参加。
- 社員が日常生活でためたエコマネーをW認証。

本日も協力いただきたいECOチャレンジ

■ 公共交通でのご来場

JRでお越しの方は、TOICA等のIC乗車券
地下鉄・バスでお越しの方は、ユリカ等トランパス乗車券にて
乗車履歴を確認させていただき10ポイントを発行します。

■ 「いのちを支えるもりづくり」に5ポイントを自動寄付

愛知県では、2010年のCOP10（生物
多様性条約第10回締約国会議）の開
催に向け、県民の方々、企業の方々、
NPOの方々等、多くの皆さんの参
加により、生き物の命を育む木を県
内一円に植える「いのちを支えるも
りづくり」を進めています。
本日も寄付いただいたポイントは、
この「いのちを支えるもりづくり」
に活用させていただきます。



<http://www.inochi-mori-aichi.jp>